



平成29年3月2日  
編集人 兼 発行人  
秋田県能代市字高崎2番1号  
秋田県立能代高等学校新聞部  
印刷所 能代印刷 山本洋子  
写真提供 佐藤写真館



## 伝統に学び 変革の十年に

昨年度 創立九十周年を迎えた本校。今年度は「創立百周年に向けた一年目」という言葉が随所でみられた。創立百周年に向けて現状を分析し、今後の改善点はどこなのか、卒業を間近に控えた三年生を対象にアンケートを行った。回収一九九名。そこで見てきたのは地元への貢献意識と能代高校の将来に対する漠然とした不安や危機感であった。

### 進路先 県外75%

まず、卒業後の進路をたずねた。まだ進学希望の生徒は進路が確定していない時点で、調査のためほとんどが希望となるが、卒業生の75%は県外に進学または就職する。

### 地元貢献意識の高さ

県外に進学、就職した生徒や県内で進学した生徒は地元へ戻ってくる意思はあるのか。図2から分かるように生徒の多くが地元へ戻ってこようという意思がある。特に県内に進学、就職する生徒は割合が高い結果となった。地元に戻ってきてからは医療関係や、教師、公務員などの職業に就職を希望する人が多い。また両親がといてきたら両親の介護や地元の地域活性化へなど他校にはない特徴を持つ。

### 十里強歩は自己との戦い

続いて能代高校に残したい行事については「十里強歩」の回答がトップとなった。図3「十里強歩は自己との戦い」という結果を得ている。

図1 卒業後の進路

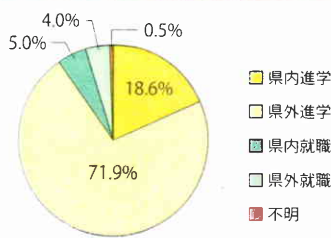


図2 地元に戻ってくるか

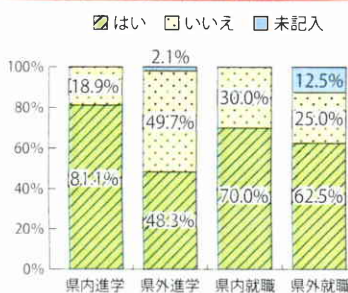


図3 能代高校に残したい行事

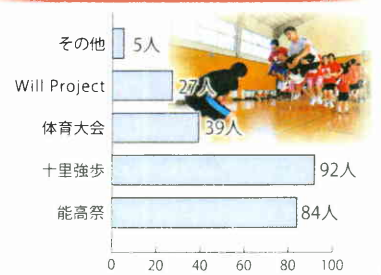


図4 能代高校に期待すること

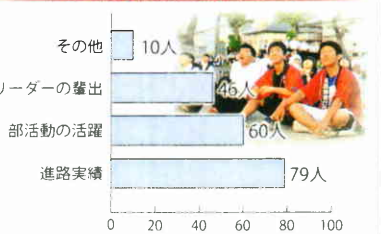


図5 能代高校をより良くするには

- 生徒の声
- ・課題はいらない
  - ・読書の習慣化
  - ・もっと早く受験体制に
  - ・校則の再検討
  - ・暖房設備をもっとよくしてほしい
  - ・校内清掃を徹底する
  - ・校舎を修理、整備してほしい(隙間風がひどいなど)
  - ・体育大会と能高祭を同じ週にしないでほしい



### 文武両道の精神

今後の能代高校に期待するものは、という問いに対しては「進路実績」がトップの回答になった。図4「進路実績」がトップの回答になった。図4「進路実績」がトップの回答になった。図4「進路実績」がトップの回答になった。

### 文武両道の精神

文武両道の精神を大切にする。文武両道の精神を大切にする。文武両道の精神を大切にする。文武両道の精神を大切にする。

### 文武両道の精神

文武両道の精神を大切にする。文武両道の精神を大切にする。文武両道の精神を大切にする。文武両道の精神を大切にする。

### 文武両道の精神

文武両道の精神を大切にする。文武両道の精神を大切にする。文武両道の精神を大切にする。文武両道の精神を大切にする。

### 文武両道の精神

文武両道の精神を大切にする。文武両道の精神を大切にする。文武両道の精神を大切にする。文武両道の精神を大切にする。



生徒総会  
生徒総会では、学校の運営について話し合いが行われました。

能高祭の脱マンネリ化  
能高祭は、毎年恒例の行事ですが、今年は新しい企画が追加されました。

変化を恐れず  
100周年に向けて、能代高校は様々な変化を遂げています。

(木村)



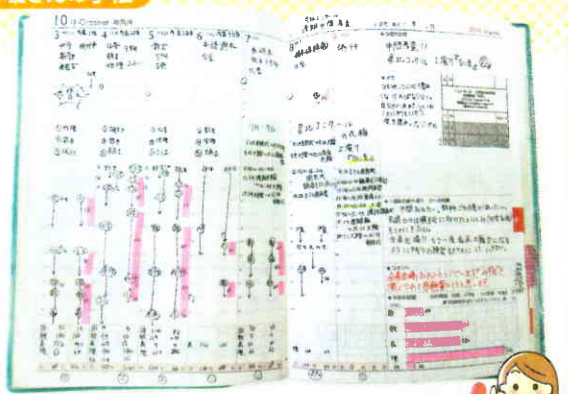








## 幸坂さんの手帳



## → 記者の目

- ▶ 振り返りが素直で率直な自分の言葉で書かれているのが良い。後から見直した時に、自然に自分の中に吸収できるのではないだろうか。
- ▶ 英語科から配付された小テスト予定表を貼付している。
- ▶ メモ欄にことわざや名言を書きそれを励みにしている。モチベーションが上がって良い。

check!

## 日諸さんの手帳



## → 記者の目

- ▶ 学習の目標は鉛筆のイラストで、部活の目標は音符を描き分けやすい、自分が目で見ても楽しめるようになっている。
- ▶ 自分の感情を所々に入れているのがとてもいい!
- ▶ メモ欄を上手に活用して行動の振り返りが出来ている。

## スケジュール管理で成績向上



## 手帳の上手な使い方

## 視覚でとらえる工夫

手帳を活用し、生活習慣の改善や、自立的な時間・目標管理につなげようという試みが広がっている。本校では、一・二年生が四月から指の手帳を使用している。「校内手帳甲子園」が行われ、オリジナル性の溢れる手帳が紹介された。その中でも、特に効果的な活用をしている二人の生徒に、手帳の使い方についてインタビューをした。

## 三色限定で見やすく

一E 幸坂 彩花さん  
(演劇部)

## 勉強時間を量でとらえる

二A 日諸 怜奈さん  
(吹奏楽部)

最初の頃は提出や忘れ物を防ぐために書いていた幸坂さんだったが、次第に工夫を凝らした手帳になっていったという。勉強した時間にマーカーを引き、日々の勉強量の差を視覚的に分かりやすくすることで、勉強時間が増えたそう。また、使う色を三色までに抑えることで、内容にメリハリがつき、要点が分かる。

りやすい手帳となっている。

## 文武両道を実現して

二年部主任伊藤孝義先生に話を伺った。手帳を導入した理由はスケジュールを可視化すること、時間管理ができること、文武両道が可能となり充実した生活ができるようになるからだったという。手帳をしっかりと使っている生徒はこの効果が表れている。二年生でこの習慣が身に付くと受験勉強、社会に出てからも計

を書いている。色ペンを使用したり、イラストを用いて見ても書いても楽しめるように手帳を作ることが自分から動き出すに使える工夫だと語った。

私の声  
伝えて・聞いて・考えて

## フィットネスで社会を明るく

3A 小川 和也

私は趣味で体を鍛えている。体を鍛えることは、何よりも手軽で見返りの大きい活動ができるようになるからだったという。手帳をしっかりと使っている生徒はこの効果が表れている。二年生でこの習慣が身に付くと受験勉強、社会に出てからも計

## 最後の退場曲

3C 工藤 凜子

私はこの高校三年間吹奏楽部に所属し、友に沢山の曲を演奏してきた。コンクールや定期演奏会など大きなホールで厳かに演奏することもあれば、野球応援や新人部員勧誘のための演奏もした。中でも一番心に残る演奏は式典での演奏だった。

入学式での人退場では、新年生たちの期待と不安を後押しするように、壮行会では選手一人一人の健闘を祈った。

春から社会人一年生  
スーツ姿もカッコよく

整容マナー講習

一月十六日の六・七校時、家庭科室で整容マナー講習が行われた。対象は既に進路が決定したものの就職希望、専門学校進学希望者である。社会人の常識の一つとして、整容のマナーを身につけてもらうことがねらいである。講師として洋服の青山能代ブレスポ店長の高橋秀一さんを迎え、社会人として恥ずかしくない服装に着こなした。

## ひとりですがなにか。

3C 大塚 真凜

「これだからひとり時代は」と言われたことがある。人は多いのではないだろうか。私は学校で学んだ時間はあまりない。いわゆる「ゆとり世代」(広義では二十歳以下)だ。世間的にはあまり良い印象はないだろう。しかし、ひとり時代からといって限界を決めるのはどうだろうか。私には、その時代に教育を受けたからこそ強みがある。IT関係が得意だ。

## 新クラス設定を

3C 成田 和美

能代高校の三年に就職・専門学校に進路希望する人たちのクラスをつくるのはどうだろうか。能代高校の大学進学率は八割以上いる。そのため、三年の文型だと私立や公立や就職・専門学校などの進路別に授業を受けることができない。選択授業がある。私は就職希望であり、一月からは英語や英語で習熟度別進路別に分かれて授業を受けている。

## 編集後記

今回は卒業を控えた三年生に関する内容を中心に取上げた。読者のみなさんが学校の生活の姿をのぞける機会になればいいと思う。また、本紙は多くのみなさんの協力により発行まで進んでいる。特に編集委員会の小林竜希さん、斎藤すみれさん、佐々木茜さん、大沢志保さんは取材や執筆作業まで携わって頂き、新開部の人手不足を補ってくれた協力もいただいていた。すべての人にこの場を借りて感謝する。(輝)